



# 株式会社大庄

## 平成30年8月決算期

## 決算説明資料

平成30年10月29日

### 板前による、こだわり和食。



DAISYO CORPORATION



## I. 31／8月期の経営戦略及び具体的施策

## II. 30／8月期決算の概要

1. 連結業績の内訳 .....	6	6. 連結特別利益・特別損失の内訳 ...	12
2. 新規出店・改装店実績 .....	7	7. 連結貸借対照表(B/S) .....	13
3. 都道府県別 グループ店舗数 .....	8	8. 連結キャッシュ・フロー .....	14
4. 売上高 .....	9-10	9. 関係会社の状況 .....	15
5. 販売費及び一般管理費の内訳 .....	11		

## III. 31／8月期公表計画の概要

10. 31/8期 公表計画(連結ベース) .....	16
11. 31/8期 店舗計画 .....	17
12. 31/8期 計画骨子 .....	18
13. 31/8期 中期経営計画(連結ベース) .....	19

## 1. 店舗政策

### (1) 巡航速度での店舗リストラクチャリングの取組み

- 前期までの構造改革施策に伴う積極投資は一応の締めくくり
  - ◎ 新店10店舗、改装30店舗、閉店30店舗
  - ◎ 改装30店舗のうち、約20店舗は低投資の改装 ⇒ 区画は変えず表装替え等
  - ◎ 閉店30店舗のうち、約20店舗はVC(ボランタリーチェーン)店舗への移行
  - ◎ カラオケ業態の価格帯での色分け ⇒ 『オーセンティック』と『カジュアル』

### (2) 店舗運営の生産性向上への取組み

- ◎ 店舗のカスタマイズ
  - ① 業態特性・立地状況を踏まえた個別営業戦略の作成
  - ② 一店一店の取組課題を明確化し、営業ラインのみならず本社機能部隊や仕入部門等含めた複眼的な店舗指導により、オペレーション力を強化

## (3) 店舗業態・MDのさらなる充実化および差別化

- ◎ 『庄や』、『日本海庄や』を中心とするリブランディング

『庄や』

“板前がいるまちの酒場。庄や”

『日本海庄や』

“腕に、魚にこだわり抜く。日本海庄や”

- ◎ 「専門店」業態で開発した食材メニューのシナジー効果

- ◎ 新業態のさらなるブランド強化

⇒ 『しゃぶしゃぶドレミ』、『三四味屋』、『石田部屋』、『くろやき屋』、『炭火焼肉 大和』

- ◎ 既存業態では、『満天酒場』、『築地日本海』、『築地寿司岩』への業態転換を強化

⇒ デフレ基調が続く中、リーズナブルな業態は強い

⇒ 家族客・団体客・インバウンドに強い寿司業態は今後も伸びていく

- ◎ 同業他社との差別化

⇒ 効率化よりも人の手による作りこみを大事にし、技術の継承にこだわる

⇒ 日本の食文化を継承する担い手になる



## 2. 新物流センターを核とした各種事業の拡大

- 飲食店のあらゆるニーズにワンストップで応えるプラットフォーム
  - ◎ 当社が培ってきたノウハウや社内リソースを、外部一般飲食店様にも提供  
⇒ “飲食店のコンビニ機能を持ったディストリビューター（供給業者）”となる
  - ◎ 外部の飲食店舗への「卸売事業」のさらなる拡大
  - ◎ 物流子会社による3PL物流機能の向上および販路の拡大
  - ◎ 水産卸売子会社の加工設備充実による外販力の拡大



## 3. 従業員向け教育と「モチベーションアップ策」のさらなる拡充

- (1) 「大庄グループボランティアチェーン（VC）制度」の推進  
⇒ 31年8月期は20店舗出店を計画
- (2) 「調理甲子園」の継続開催、「店舗インセンティブ制度」等の継続  
⇒ 将来に向け安定した人材の確保・育成
- (3) 調理人の昇給・昇格制度の整備
- (4) 従業員教育制度のさらなる充実
  - ① 本部研修制度の充実
    - ⇒ 『調理技術検定』の運用強化
    - ⇒ 店長・調理長を対象とした『振り返り研修』等の強化
    - ⇒ 業態ごとの特徴を踏まえた研修用ビデオの作成
  - ② 外部教育機関の利用
    - ⇒ 弊社理念とリンクした精神的な教育等
  - ③ 店舗内教育（OJT）の強化



# 1. 連結業績の内訳

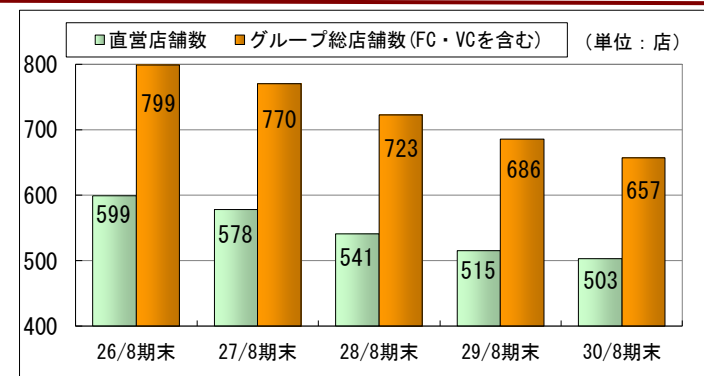
DAISYO CORP.

【単位：百万円】

	平成29年8月期 実績		平成30年8月期 実績		増減額	
		構成比		構成比		比率差
<b>売上高</b>	63,957	100.0%	61,503	100.0%	▲2,453	—
売上原価	24,557	38.4%	24,530	39.9%	▲26	+1.5%
販売費及び一般管理費	38,951	60.9%	36,567	59.5%	▲2,384	▲1.5%
<b>営業利益</b>	448	0.7%	406	0.7%	▲42	▲0.0%
営業外収益	92	0.1%	117	0.2%	+25	+0.1%
営業外費用	158	0.3%	130	0.2%	▲28	▲0.0%
<b>経常利益</b>	382	0.6%	393	0.6%	11	+0.0%
特別利益	202	0.3%	1,163	1.9%	961	+1.6%
特別損失	609	1.0%	707	1.2%	97	+0.2%
<b>税引前当期純利益</b>	▲25	▲0.0%	849	1.4%	875	+1.4%
法人税等	264	0.4%	230	0.4%	▲33	▲0.0%
法人税等調整額	132	0.2%	402	0.7%	269	+0.5%
非支配株主に帰属する当期純利益	15	0.0%	14	0.0%	▲1	+0.0%
<b>当期純利益</b>	▲438	▲0.7%	202	0.3%	640	+1.0%

## 2. 新規出店・改装店実績

	30/8期	29/8期	28/8期	3年計
新規出店	19	14	16	49
店舗改装	48	67	54	169
閉店	31	40	53	124



### 業態別明細

	29/8期 店舗数	新規出店		店舗改装			閉店		30/8期 店舗数	前期 増減
		うち 譲受	改装	うち 他業態に 変更	他業態 からの 変更	うち VC店				
庄や	172	2	1	8	▲5	12	▲14	※ ▲6	167	▲5
日本海庄や	92			10	▲10	1	▲4		79	▲13
大庄水産	37	1		1		7	▲3		42	+5
かたか・ファンタジー	37			1		5			42	+5
とり家 ぬび寿	19	5		3	▲2	2			24	+5
やるき茶屋	35			9	▲9		▲7	※ ▲1	19	▲16
築地日本海	12			1		3	▲1		14	+2
RUMP CAP	8	3				2			13	+5
かたか・歌うんだ村	15			4	▲4				11	▲4
築地寿司岩	10								10	0
塩梅	10								10	0
羊肉酒場 悟大	10	3		3	▲3		▲1		9	▲1
呑兵衛	7					2			9	+2
その他業態	51	5		8	▲7	6	▲1		54	+3
直営店舗計	515	19	1	48	▲40	40	▲31	※ ▲7	503	▲12

※ 閉店 (VC) は「VC(ボランティアチェーン)加盟店」への転貸によるものです。

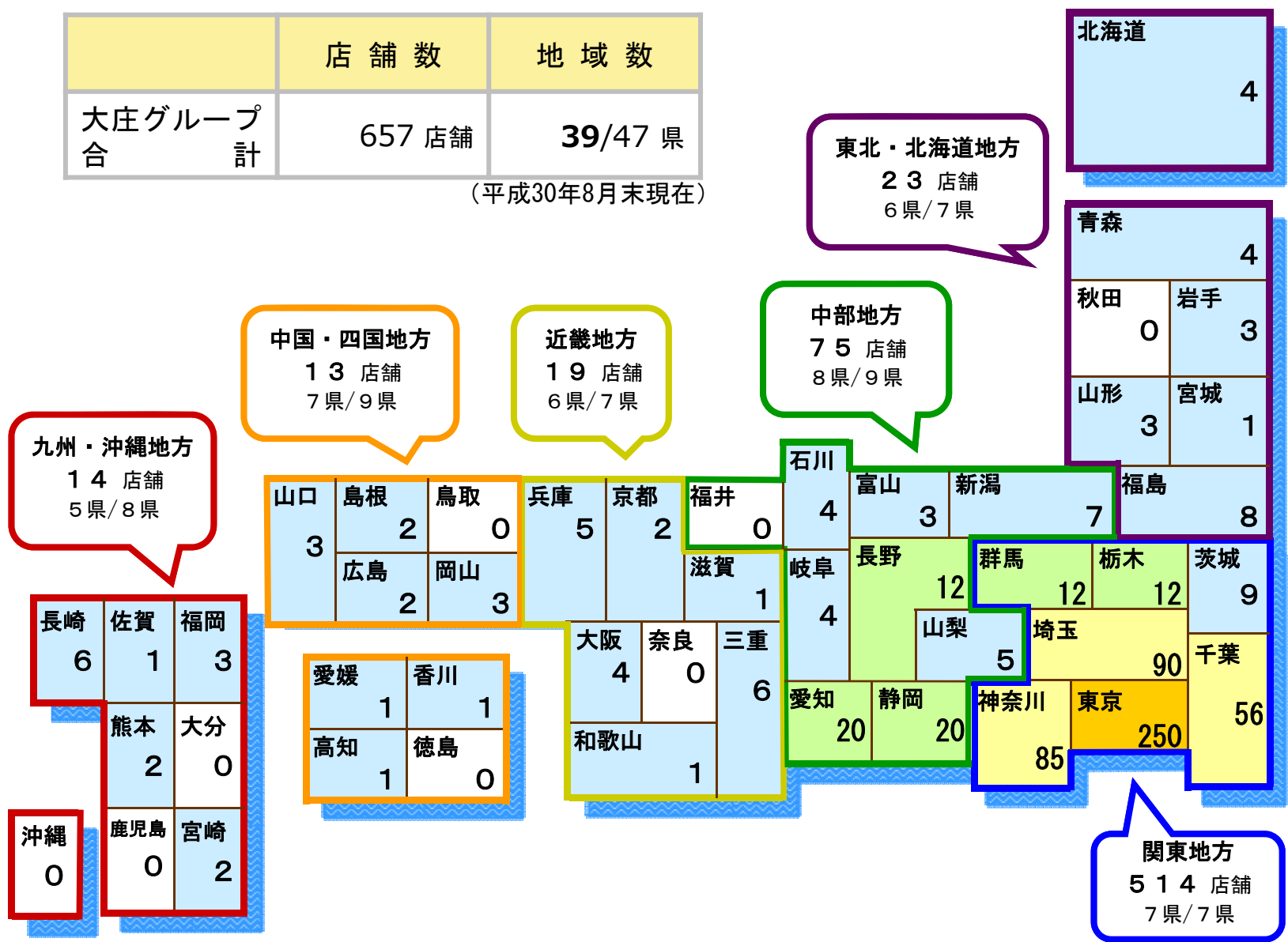


### 3. 都道府県別 グループ店舗数

	店舗数	地域数
大庄グループ 合計	657 店舗	39/47 県

(平成30年8月末現在)

0店舗
1~10店舗
11~30店舗
31~100店舗
101~店舗



## 4. 売上高

### (1) 既存店売上高（対前年比）

#### <前年比実績推移表>

	28/8期	29/8期	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	30/8期	9月
売上高	99.8	98.5	98.5	93.0	99.3	99.8	96.5	96.1	101.6	99.8	98.9	101.7	96.0	102.7	98.7	97.2
客数	98.0	97.9	99.0	92.4	98.3	99.7	96.3	96.2	101.0	99.5	98.6	100.7	96.7	102.1	98.4	96.1
客単価	101.8	100.6	99.5	100.7	101.0	100.1	100.3	100.0	100.6	100.3	100.4	101.0	99.3	100.6	100.3	101.2

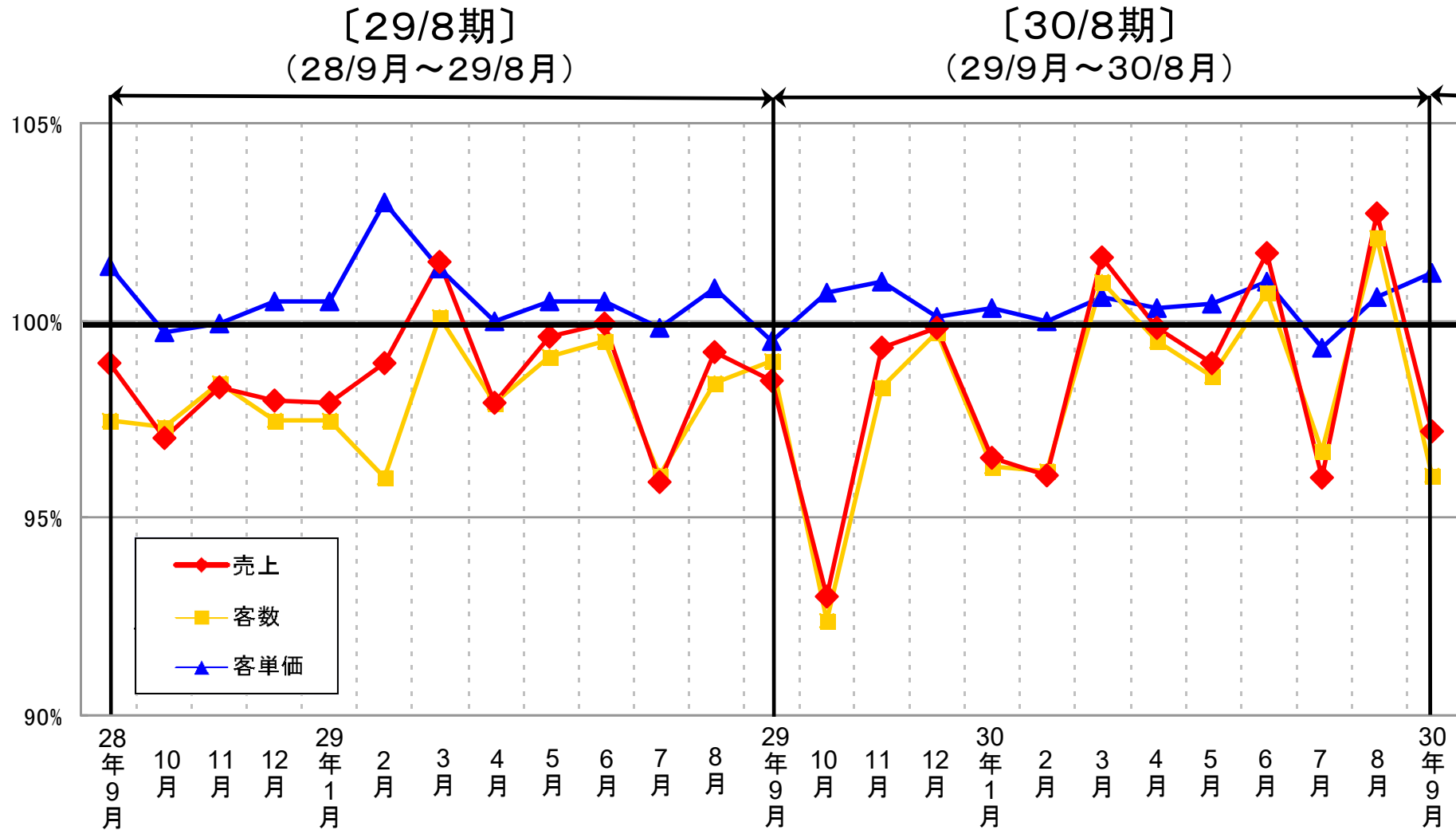
#### <カテゴリー別前年比実績>

	昼	宴会	夜フリー	30/8期 累計
売上高	101.6%	96.1%	98.5%	98.7%
客数	99.5%	96.7%	98.0%	98.4%
客単価	102.1%	99.3%	100.6%	100.3%

#### <カテゴリー別売上構成比>

	昼	宴会	夜フリー
28/8期累計	14.3%	12.6%	73.1%
29/8期累計	15.3%	12.1%	72.6%
30/8期累計	15.5%	11.4%	73.1%
前期増減率	+0.2%	▲0.7%	+0.5%

(2) 既存店売上高・客数・客単価の前年比月別推移表



## 5. 販売費及び一般管理費の内訳

DAISYO CORP.

【単位：百万円】

	平成29年8月期 実績		平成30年8月期 実績		増減額	
		対売上比率		対売上比率		比率差
人件費	21,595	33.8%	20,169	32.8%	▲1,425	▲1.0%
地代家賃	6,430	10.1%	6,150	10.0%	▲279	▲0.1%
水道光熱費	2,737	4.3%	2,589	4.2%	▲147	▲0.1%
減価償却費	1,443	2.3%	1,366	2.2%	▲76	▲0.0%
消耗備品費	1,303	2.0%	1,296	2.1%	▲7	+0.1%
販促・広宣費	1,201	1.9%	904	1.5%	▲297	▲0.4%
衛生費	854	1.3%	796	1.3%	▲57	▲0.0%
その他	3,384	5.3%	3,291	5.4%	▲92	+0.1%
販売費及び一般管理費	38,951	60.9%	36,567	59.5%	▲2,384	▲1.5%
営業利益	448	0.7%	406	0.7%	▲42	▲0.0%

## 6. 連結特別利益・特別損失の内訳

### ▶ 特別利益

【単位：百万円】

項目	29/8期	30/8期	増減	備考
固定資産売却益	16	920	904	
受取補償金	185	241	55	
貸倒引当金戻入額	—	2	2	
特別利益	202	1,163	961	

### ▶ 特別損失

項目	29/8期	30/8期	増減	備考
固定資産除却損	216	350	134	
減損損失	334	223	▲110	
店舗関係整理損	56	64	7	
事業支援損	—	39	39	
子会社移転費用	—	27	27	
閉店損失引当金繰入額	1	1	0	
固定資産売却損	0	0	0	
固定資産圧縮損	1	—	▲1	
特別損失	609	707	97	

## 7. 連結貸借対照表 (B/S)

DAISYO CORP.

(単位：百万円)

	29/8期	30/8期	増減額
現預金	11,657	12,164	507
売掛金	1,938	2,111	173
棚卸資産	653	702	48
短期繰延税金資産	367	313	▲53
その他	916	758	▲158
流動資産	15,532	16,050	517
有形固定資産	12,254	15,232	2,978
内 償却資産等	8,103	11,533	3,429
内 土地	4,150	3,699	▲451
無形固定資産	1,500	1,640	140
敷金・保証金	9,481	9,136	▲344
長期繰延税金資産	59	7	▲52
その他	421	426	4
固定資産	23,717	26,443	2,725
繰延資産	—	18	18
資産合計	39,250	42,511	3,261
	29/8期	30/8期	増減額(率)
有利子負債	6,547	9,597	+3,049
現預金	11,657	12,164	+507
NET有利子負債	▲5,109	▲2,566	+2,542
自己資本比率	56.8%	52.2%	▲4.6%
有利子負債依存度	16.7%	22.6%	+5.9%

	29/8期	30/8期	増減額
買掛金	1,972	2,010	38
未払金	2,414	2,523	108
借入金(長短)	6,517	8,742	2,224
社債	30	855	825
リース債務	212	133	▲78
資産除去債務(長短)	1,388	1,380	▲7
その他	4,229	4,456	227
負債合計	16,763	20,101	3,337
資本金	8,626	8,626	—
資本剰余金	9,908	9,908	—
利益剰余金	4,216	4,129	▲87
自己株式	▲602	▲602	▲0
株主資本	22,148	20,060	▲87
その他包括利益累計額	149	147	▲2
非支配株主持分	188	201	12
純資産合計	22,486	22,409	▲87
負債・純資産合計	39,250	42,511	3,261

## 8. 連結キャッシュ・フロー

DAISYO CORP.

【単位：百万円】

	平成29年8月期	平成30年8月期	増減額
<b>1. 営業活動CF</b>	449	1,727	1,278
税引前利益	▲25	849	875
減価償却費	1,464	1,512	53
減損損失	334	223	▲110
有形固定資産除却損	216	350	134
各種引当金純増減額	▲385	▲12	373
売上債権の増減額	▲24	▲173	▲149
仕入債務の増減額	▲92	38	130
その他営業CF	▲1,036	▲1,060	▲28
<b>2. 投資活動CF</b>	▲3,716	▲3,899	▲183
有形固定資産の取得による支出	▲3,325	▲4,716	▲1,390
有形固定資産の売却による収入	214	1,458	1,243
無形固定資産取得による支出	▲228	▲500	▲271
敷金・保証金の差入・回収純増減額	▲98	250	349
その他投資CF	▲277	▲391	▲114
<b>※ フリーキャッシュ・フロー</b>	(▲3,267)	(▲2,172)	(1,094)
<b>3. 財務活動CF</b>	▲85	2,613	2,698
長短借入金の純増減額	500	2,224	1,724
社債の純増減額	▲120	805	925
リース債務の返済支出	▲174	▲127	46
配当金の支払額	▲291	▲291	▲0
その他財務CF	▲0	1	2
<b>4. 現金及び現金同等物の期首残額</b>	15,022	11,673	▲3,348
<b>5. 現金及び現金同等物の増減額</b>	▲3,348	441	3,789
<b>6. 現金及び現金同等物の期末残額</b>	11,673	12,114	441

## 9. 関係会社の状況

### ➤ 連結子会社

(単位：百万円)

	主要な事業内容	本社所在地	資本金	30/8期売上高	議決権の所有割合	備考
米川水産(株)	生鮮魚介類等の卸売業	東京都大田区	90	4,144	100.0%	・築地市場での買参権を保有 ・外販部門の営業を強化
(株)ディ・エス物流	食材等の配送業	東京都大田区	99	7,526	100.0%	・グループ店舗へ食材等を毎日一括配送 ・外部取引先への配送業務を強化中
(株)アサヒビジネスプロデュース	不動産賃貸管理 害虫防除事業	東京都中央区	60	551	75.0%	・ソーシャルビルの転貸業務が柱 ・グループ店舗中心に「害虫駆除」事業を拡大中
新潟県佐渡海洋深層水(株)	飲料水等の製造・販売	新潟県佐渡市	96	287	100.0%	・海洋深層水を利用したミネラルウォーターのOEM製造
(株)ミッドワーク	業務用空調機の洗浄・修理	千葉県柏市	10	86	80.0%	・27年10月に連結子会社化 ・業務用エアコン洗浄及びメンテナンス業務が主
(株)光寿	食器等の販売	東京都大田区	10	28	80.0%	・食器及び調理備品類の販売

### ➤ 持分法適用関連会社

	主要な事業内容	本社所在地	資本金	30/8期売上高	議決権の所有割合	備考
(株)エム・アイ・プランニング	酒・飲料等の卸売・配送業	東京都葛飾区	10	1,866	20.0%	・当社並びにF C店舗に酒・飲料等を卸売・配送



## 10. 31／8月期 公表計画(連結ベース)

DAISYO CORP.

(単位：百万円)

	30/8期 実績	構成比	31/8期 計画	構成比	前期比 増減	増減率	31/中間期 計画	構成比
売上高	61,503	100.0%	62,500	100.0%	996	1.6%	31,100	100.0%
営業利益	406	0.7%	950	1.5%	543	133.6%	250	0.8%
経常利益	393	0.6%	950	1.5%	556	141.3%	220	0.7%
当期純利益	202	0.3%	250	0.4%	47	23.6%	50	0.2%

### <特別利益及び特別損失計画>

	30/8期 実績	31/8期 計画
特別利益見込	1,163	50
特別損失見込	707	350

# 11. 31／8月期 店舗計画

## (1) 既存店売上計画 (対前年比)

31／8月期 通期計画 100.0%

## (2) 新規出店計画

		30/8月期 実績	31/8月期 計画
連	結	19 店舗	10 店舗

➤ 新業態計画  
今期「三四味屋」、「石田部屋」、「くろやき屋」

## (3) 改装店舗計画

		30/8月期 実績	31/8月期 計画
連	結	48 店舗	30 店舗

➤ 低投資での改装(20店舗)

## (4) 閉店計画

		30/8月期 実績	31/8月期 計画
連	結	31 店舗	30 店舗

➤ うち20店は、VC20店舗

### <利益計画の骨子>

- (1) 前期までの「業務構造改革」における投資効果を最大限実現させ投資回収を図る
  - 店舗投資 前期の新店(19店舗)、改装店(48店舗)のオペレーション安定化に伴う収益向上
  - 新物流センターの収支安定化と外販事業の取組強化
- (2) 既存店前年比 通期 100.0%(上期 100.0% 下期 100.0%)
  - ・ 「MD改革」の推進による、売上原価率の低減を見込む
  - ・ 販管費率は、人件費・消耗備品費等を中心に低減効果を見込む
  - ・ 店舗運営の生産性向上への取組による収益力向上を図る
- (3) 今期店舗投資計画
  - ・ 改装30店舗 内低投資20店舗、新店10店舗
  - ・ 改装期間の短縮により、改装期間中の売上減少や立ち上りまでの営業損失を極力抑制
- (4) 店舗閉鎖「前期(29店舗)及び今期(30店舗)」に伴う収益改善効果

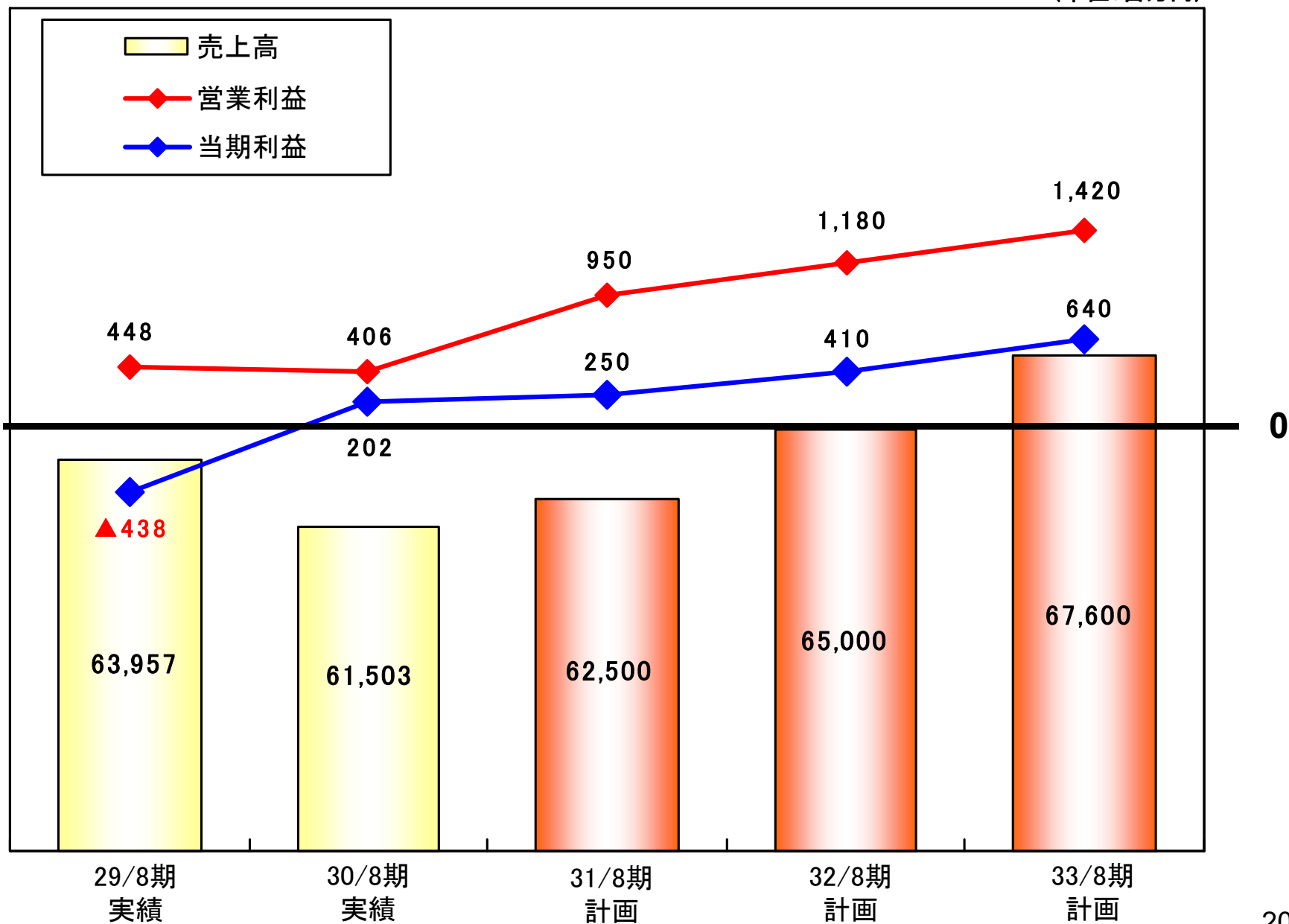
# 13. 中期経営計画（連結ベース）

1. 当面は、収益源である「既存店舗対策」の強化に取り組む
2. 閉店計画数の中には、「VC店舗」への転換分を含む

	29/8期 実績	構成比	30/8期 実績	構成比	31/8期 計画	構成比	32/8期 計画	構成比	33/8期 計画	構成比
売上高	63,957	100.0%	61,503	100.0%	62,500	100.0%	65,000	100.0%	67,600	100.0%
営業利益	448	0.7%	406	0.7%	950	1.5%	1,180	1.8%	1,420	2.1%
経常利益	382	0.6%	393	0.6%	950	1.5%	1,180	1.8%	1,420	2.1%
当期純利益	▲438	▲0.7%	202	0.3%	250	0.4%	410	0.6%	640	0.9%
新規出店数	14 店舗	—	19 店舗	—	10 店舗	—	10 店舗	—	10 店舗	—
改装店数	67 店舗	—	48 店舗	—	30 店舗	—	20 店舗	—	20 店舗	—
閉店数	40 店舗	—	31 店舗	—	30 店舗	—	20 店舗	—	20 店舗	—
期末店舗数	515 店舗	—	503 店舗	—	483 店舗	—	473 店舗	—	463 店舗	—

# 通期連結売上高・営業利益・当期純利益の推移表

(単位:百万円)



**【将来見通しに関する注意事項】**

本資料に記載されている、当期ならびに将来の業績見通し等に関する記述内容につきましては、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。

従いまして、実際の業績等は、様々な要因により大きく変動する可能性があることをご承知おき下さい。実際の業績に影響を与える要因としては、当社グループを取り巻く経済・社会情勢や市場環境、会計基準や法律・諸制度の変更などがあります。さらに、自然災害などの予測不可能なリスク要因も含まれております。

また、当資料は、当社グループをより深く理解いただくために、株主、投資家の皆様への情報提供を目的としたものであり、必ずしも投資をお勧めするものではないことをご認識いただくようお願い申し上げます。

**IRお問い合わせ先****担当部：株式会社大庄 経営企画部****電話：03-5764-2229****FAX：03-5764-2237**